

レファレンスセンター報告

インフルエンザ

コア地衛研:

岩手県環境保健研究センター

東京都健康安全研究センター

大阪府立公衆衛生研究所

愛媛県立衛生環境研究所

福岡県保健環境研究所

○愛知県衛生研究所

サポート地衛研:

北海道衛生研究所

横浜市衛生研究所

富山県衛生研究所

堺市衛生研究所

沖縄県衛生環境研究所

H26年度のレファレンス活動報告

- ✓ インフルエンザウイルス分離検査体制の現状と問題点を把握するためのアンケート調査
→ウイルス分離効率の低いと考えられた機関への電話による情報交換
- ✓ 72カ所の地衛研に対してインフルエンザウイルスのリアルタイムRT-PCR検査の外部精度管理試験(EQA)の実施
- ✓ 薬剤耐性株サーベイランスの実施
TaqMan PCRで検出(地衛研)、感受性試験(感染研)

これまでのEQQAについて

年月	参加地衛研	パネル
～2011年9月	11 (コア・サポート)	1. H5陽性コントロール 2. 未知7検体 3. RNA抽出チェック 2検体
～2012年12月	11 (コア・サポート)	1. 未知4検体(RNA抽出不要) 2. 未知6検体(要RNA抽出)
～2013年12月	74	1. H5陽性コントロール 2. H7陽性コントロール
～2014年12月	72	未知6検体(RNA抽出不要)

H27年度の実施

○ 既に実施中の項目

- ✓ 全国地衛研のインフルエンザウイルス分離検査について
地衛研全国協議会会員80機関を対象にアンケート調査を実施

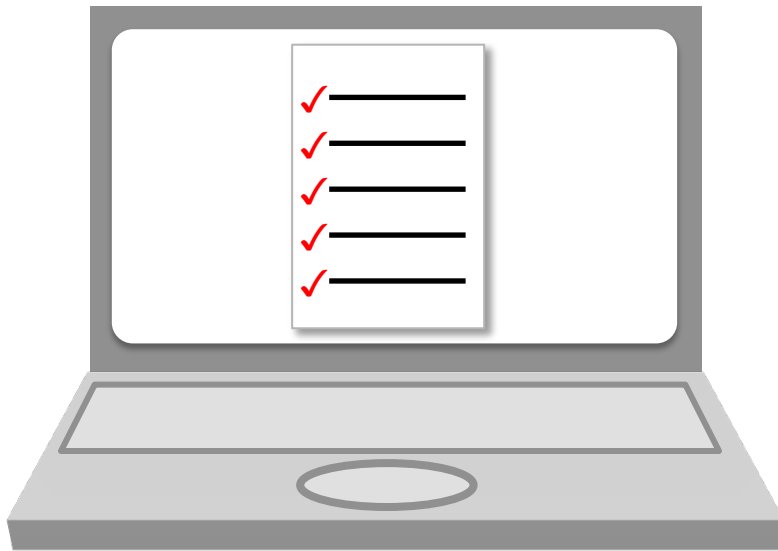
○ 実施予定の項目

- ✓ EQAP(2015)の実施
- ✓ 薬剤耐性株サーベイランスの継続

TaqMan PCRで検出(地衛研)、感受性試験(感染研)

◆2015/16シーズンの実施要綱は8月に発送予定

地方衛生研究所におけるウイルス分離と型・亜型同定法のアンケート調査について



8月31日まで受け付けておりますので、
ご協力をよろしくお願い致します。

EQA2015について

- 「参加登録」の送付
- 今年度は未知の検体として、RNA抽出を必要とする5検体と抽出不要の1検体を送付
(昨年度はRNA抽出不要の6検体)
- 亜型同定およびCt値の報告(簡単なアンケートへの回答含む)